

サレビア

特集

対談 消化器内科 × 外科

岐阜市民病院に受診する患者さんの流れの一例／医師紹介／
お知らせ／スタッフインタビュー／市民公開講座のお知らせ

Vol.

36



西診療棟3階（消化器病センター・外科外来）

対談 消化器内科×外科

杉山 昭彦

副院長兼消化器内科部長
専門：上下部消化管疾患全般

佐々木義之

外科長兼外科部長
専門：肝胆膵外科

林 秀樹

消化器内科部長
専門：肝疾患、肝腫瘍

八幡 和憲

外科部長
専門：大腸肛門外科

岩田 圭介

消化器内科部長
専門：膵・胆道疾患

棚橋 利行

外科部長
専門：胃外科

ー消化器内科と外科ではどのように連携されていますか？

地域の医療機関から日頃は多くの患者さんをご紹介いただいています。宛先は消化器内科であったり外科であったりしますが、治療や検査を進めていく中で手術が必要な患者さんについては、放射線や病理の医師にも参加いただく合同カンファレンスを毎週開催



(杉山)

して治療方針を決めています。手術は外科で担当しますが、その後は再び消化器内科で担当するなど病状に応じて最適な科で治療にあたっています。

ー若手医師の育成はどのようにされていますか？

消化器の中で臓器別に3つのグループに分かれています。それぞれのグループが毎週カンファレンスを行い、検査や治療の方針について確認を行っています。専門性を伸ばすことは大切ですが、あまり専門に偏らないような様々な疾患を経験できるように指導しています。

ーそれぞれの領域で力を入れていることを教えてください。

(消化器内科) 膵臓がんは一般的に予後が悪いといわれていますが、膵のう胞など膵臓がんのリスクがある方を経過観察させていただき早期発見、早期治療できるように心がけています。早期で発見できると、5年生存率^{*1}が8割ぐらいとなっています。

肝臓がんの原因として従来はウイルス性が多かったのですが、薬が開発されたことで減少傾向にあります。ウイルス以外のリスクである脂肪肝や肝硬変、特にNASHといわれる非アルコール性脂肪肝の治療に



(佐々木)



(岩田)



力を入れており、非侵襲的な検査方法の導入にも力を入れています。また、肝臓へのラジオ波による治療や難治性腹水への治療など他院では対応が難しい病態でも対応しています。

最近の新しい治療への取り組みとして、切除不能な内分泌腫瘍に対して今年の4月から放射線内用療法を開始しました。これまで抗がん剤治療が効かなくなると次の選択肢がなかった方へ、新たな選択肢が提案できるようになりました。

(外科) 大腸がんの手術では、ロボット手術^{※2}を導入し、



(八幡)

従来の術式より身体へのダメージが少なく患者さんにやさしい手術が可能となっています。直腸の手術では肛門を残せるかどうかは患者さんのその後の生活に大きく影響しますので、なるべく肛門を温存した手術ができるよう努めています。

また、慎重かつ丁寧な手術を行うことで縫合不全等の術後合併症の割合は全国平均より少なく早期退院が可能であり、良好な治療成績が得られています。

当科には、胃がん手術で日本内視鏡外科学会の技術認定を受けた医師が3名在籍しており、質の高いかつ安全な内視鏡手術が提供できると自負しております。



(手術支援ロボット)

ロボット手術も行っており、治療成績は良好です。また、胃がんの多施設臨床研究グループに参加し、新たな治療の開発にも取り組んでいます。

肝胆膵領域では、日本肝胆膵外科学会認定高度技能医が在籍しており、消化器内科と協力して術前化学療法と手術を行う集学的治療を行っています。また、肝臓や脾臓



(棚橋)



(林)

の手術においても安全性を第一に考えつつ腹腔鏡手術も取り入れています。がんの治療だけでなくヘルニアや胆石といった良性の手術も行っています。胆のう炎や胆石と思って紹介され、その過程でがんが見つかることもあり、専門を限定せずトータルで診られる体制です。

一岐阜市民病院らしさというところはあるですか？

先ほどの診療科横断的に開催するカンファレンスもそうですが、診療科ごとの垣根が低く風通しがいいところだと思います。手術を行う前に、化学療法を実施して、がんを小さくしてから手術で切り取るという治療法がありますが、消化器内科と外科の風通しがよいので、ベストなタイミングで手術ができるよう、いつでも相談しあえています。これは消化器内科、外科の間だけでなく、お腹の中で近接する臓器の専門である婦人科や泌尿器科とも同じで、気軽に相談しあえたり手術で難渋する際には応援に入ったりしています。



(消化器内科、外科、病理診断部、中央放射線部との合同カンファレンス)

一地域の医療機関との連携はどのようにされていますか？

紹介で受診いただき、治療が落ち着いた方には逆紹介という形で地域の医療機関で経過観察していただくように連携しています。また、地域連携パス^{※3}という形で消化器の領域でいうと胃がん、肝がん、大腸がんなど患者さんも参加して長い経過を計画的に診療していく取り組みも行っています。

※1 5年生存率：治療効果の判定に使われることが多い診断から5年後に生存している確率。

※2 ロボット手術：内視鏡手術支援ロボットを用いた手術で、高解像度で立体的に術野が視認でき、手振れ防止機能を有する多関節を持った鉗子を使用することでより精密な手術操作が可能。

※3 地域連携パス：診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者さんに提示・説明することにより、患者さんが安心して継続した医療を受けることができるようにするもの。



岐阜市民病院に受診する 患者さんの流れの一例

かかりつけ医から紹介で受診した患者さんの診察の流れを紹介します



最近、便に血
が混じるんだ
よなあ。



検査の結果
より精密な検査が必要
なので岐阜市民病院へ
紹介予約しますね。

かかりつけ医

市民太郎(50 歳)
職業：会社員

消化器 カンファレンス

消化器内科、外科、
病理診断部、中央放射
線部で治療方針
の相談。

検査お疲れさまでし
た。腸に大きなポリ
ープがありましたので
採取して病理診断し
ます。



腸をきれいにするお
薬を飲んでいただき、
準備が出来たら検査
を行います。

消化器病センター

病気の状態や今後の治
療、リスクや合併症に
ついてなど説明し、患
者さんと一緒に治療
方針を決めていきます。

外来（外科）



入院に向けて、支援
させていただきます。
入院に必要なものや
注意事項などの説明
や当院以外で処方さ
れているお薬の確認
を行います。



入院支援センター

手術に向けての準備
を行います。手術前
に化学療法や放射線
治療を行うこともあ
ります。

薬剤師、栄養士、
リハビリなども患者さん
の診療に参加。



病棟





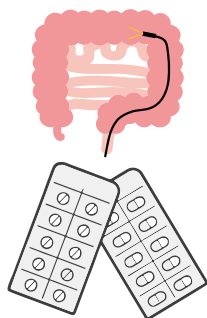
自宅

スマートフォンで
問診を事前に回答
できるんだ。



岐阜市民病院

〇〇医院より予約を承っ
ております。
紹介状と保険証（マイナ
ンバーカード）、お薬手
帳等を確認します。



大腸の内視鏡検査
を行います。検査
前に下剤等の内服
が必要です。



紹介状拝見しました。
現在の症状やこれま
でにかかった病気、
アレルギーなど確認
し、検査を行ってい
きますね。

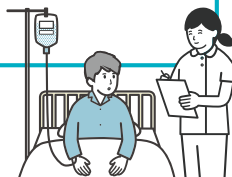
外来（消化器内科）

これから
手術を行いますね。



執刀医だけでなく、
麻酔科医、手術室
看護師も入り安全
に手術を実施。
術後も様々な職種
が関わり支援。

退院後は外来で化学療法を行っ
たり経過を診させていただきます。
場合によっては、リハビリ目的等
で転院し継続して療養いただく場
合もあります。



退院に向けて、
ソーシャルワ
ーカーが支援。

状態が落ち着い
ているので、引き続き
かかりつけ医に診ていた
だきましょう。一定期間
経過したら再度受診い
ただきます。

手術室

退院

逆紹介



副院長ごあいさつ

副院長の谷川原でございます。平成 19 年、脳神経外科部長として当院に赴任しましたが、脳神経外科では、患者さんの健康を第一に考え、最善の医療を提供することをこころがけてきました。令和 4 年 4 月に当院の副院長を拝命しましたが、主に総務・安全を担当しております。安全については医療安全推進部と感染対策部を統括することになりますが、院内の事故や感染の発生を未然に防ぎ、患者さんが安心・安全な医療を受けられる環境を整えるとともに、職員に対しても安心・安全で生き生きと働くことができる職場環境づくりを目指しています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



たにがわら てつ や
副院長 谷川原徹哉

当院には「心にひびく医療の実践」という理念があります。しかし、患者さんだけでなく医療者も疲れや不安を感じることがあります。私はまず職員を全力でサポートし、理念への共感を大切にしながら、がん医療、特にゲノム医療や免疫細胞療法といった高度医療体制を整えていきます。患者さんへのケアの質や複雑な医療の効率を高め、さらに病院内で医療者や患者さんの体験を向上させるためにデジタルトランスフォーメーションを進めます。目先だけでなく 2040 年以降を見据え、変わらぬ心で「心にひびく医療」を追求し続けます。



かさはら せん じ
副院長 笠原 千嗣

この度、2024年4月より岐阜市民病院副院長を拝命しました杉山昭彦と申します。1997年より当院に赴任し現在28年目になります。専門領域は消化器内科分野、特に上部下部消化管疾患の診断と治療で、今までに数多くの患者さんに内視鏡を用いた様々な消化管疾患の診断と治療を行ってまいりました。最近では医療の進歩もめざましいものがありますが、当院でも積極的に最新医療を提供しております。地域の皆様の健康を守るべく誠心誠意尽くして参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。何か健康上のお困りのことがございましたら当院へ御相談ください。



副院長 ^{すぎやま} 杉山 ^{あきひこ} 昭彦

副院長の篠田邦大と申します。専門は小児科で、造血幹細胞移植を含めた小児がん、虐待対応等を中心に診療してまいりました。コロナ禍では、地域のクリニック、病院、施設等との連携が、いかに大切かを痛感しました。ストレスフルな中、様々な場面でご協力をいただきました方々に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

副院長としては、主に人材育成、地域連携を担当しております。スタッフの育成には、土台に働きやすい職場環境が必要です。当院で5年前から活動している「Good Job Team」を中心に、当院の承認文化がさらに深く浸透していくことを目指します。また、当院をより身近な存在に感じていただけるよう、今後も地域の皆様に有益な情報を発信していきます。さらには、クリニックの先生方ともこれまで以上に連携を密にし、地域の医療機関全体が「One Team」となり診療にあたれるよう、尽力していきます。



副院長 ^{しのだ} 篠田 ^{くにひろ} 邦大



がんセンター長ごあいさつ

このたび、岐阜市民病院がんセンター長に就任しました奥村直樹と申します。これまで、消化器外科専門医として消化器癌の手術や抗がん剤治療に従事してきました。癌は依然として日本人の死因第1位であり、その克服に向けて私たちの取り組みは非常に重要と考えられます。癌という病気は、その重さや複雑さにおいて、患者さんやその家族にとって大きな試練です。しかし、私たちはスタッフ一丸となって、医学の最新技術や知識を駆使し、そして温かい心で、患者さんとそのご家族を支えていきます。また、地域社会や関連病院との連携を強化し、癌に対する予防、治療、研究のための包括的な取り組みを推進してまいります。皆様の協力と支援を仰ぎながら、私たちの目標を達成するために最善を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



がんセンター

がんセンター長 おくむら 奥村 なおき 直樹

新しいアルツハイマー病（AD）治療薬（レケンビ®）の期待とリスク

昨年末、大きな期待と共にエーザイ KK から発売され、当院でも治療開始に向けて準備中です。本剤はAD発症の源となるアミロイド蛋白を免疫の力で除去するものです。病気の進行を遅らせる効果があります（18ヶ月で約6ヶ月進行遅延の効果）が、症状を改善するものではありません。ADの早期の方のみが対象で、18ヶ月間、2週毎の点滴通院が必要です。また、治療開始直後は点滴時の反応（発熱、頭痛、めまい等）、4ヶ月内には脳内のむくみや微少出血のリスクがあり、稀に後遺症も生じます。治療前に患者さん・ご家族との慎重な話し合いが必要です。



認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センター長 いぬづか 犬塚 たかし 貴

研修センターの取り組み

研修センター長を拝命しております、総合診療・膠原病内科長の藤岡です。今年度はこれまでに最多の98名（うち研修医16名）の新入職員を迎えました。

当院の研修センターは初期臨床研修室、後期臨床研修室、医療スタッフ研修室で構成されています。従来、部署ごとで実施していた新人研修は、研修センターでとりまとめ、共通するカリキュラムについては研修医、看護師、その他医療職が合同で実施する体制としております。

このような体制にしたことは、多職種連携の土壌を醸成するいい機会となっておりますし、講師を務める職員の業務効率化にもつながっています。

今年度より、医師の働き方改革が開始となりました。臨床経験と研修の両方を積む必要がある若手医師には大変厳しい状況となっておりますが、研修の質を落とすことなく中身を充実させることで、これに対応すべく取り組んでおります。また、医師以外の職種についても各分野の専門性を深めていけるよう支援する体制づくりに取り組んでおります。

当院の基本理念である「心にひびく医療の実践」のもと、病院の理念を理解し、専門性を持った人材育成に努めてまいりますので、地域の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



研修センター長

ふじおか けい
藤岡 圭



新年度の恒例行事「さくらサークル」で新入職員と共にヒポクラテスの誓いを宣誓



面会受付は「総合案内カウンター」で行います

これまで各病棟スタッフステーションで行って
おりました面会受付は、令和6年4月より、玄関
ロビーにあります「総合案内カウンター」で行う
こととなりました。(平日17時以降、土日祝は玄
関内)

面会を希望される方は、総合案内カウンターへ
お申し出頂き、面会申込用紙をご記入のうえ面会
者シールをお受け取りください。新型コロナウイルス
感染症は5類に移行しましたが、その他感染
症の流行状況も踏まえて面会の条件を変更する
ことがありますので、面会前には当院ホームペー
ジをご確認ください。



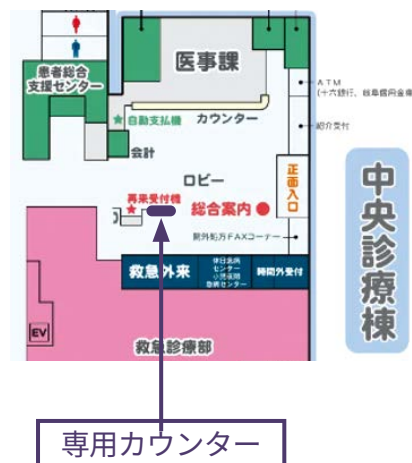
コンシェルジュアプリを開始いたしました

前回のサルビアでご紹介しておりましたコンシェルジュアプリが令
和6年3月22日から利用可能となりました。

このアプリは、当院の電子カルテと連携しており、ご自身のスマ
ホで予約状況の確認、アラートリマインド通知、らくらく会計、診
察状況のお知らせ、メッセージ配信、受診履歴等が確認できます。

患者さんに一番興味を持ってもらっている機能は、らくらく会計
です。らくらく会計を使用すると会計の待ち時間なしで帰宅する
ことができます。

1階ロビーに専用の登録カウンターを設けておりますので、ぜ
ひご利用ください。



スタッフインタビュー



外科部長

たなはし としゆき
棚橋 利行

Q. お名前、診療科、岐阜市民病院への入職年を教えてください。

A. 棚橋利行（たなはしとしゆき）、外科、2019年10月（2回目の赴任）

Q. 先生の経歴を教えてください。

A. 出身は瑞穂市（旧穂積町）です。

2003年に岐阜大学医学部を卒業し、そのまま大学病院で2年間研修医として勤務しました。岐阜中央病院、岐阜市民病院で勤務し、大学院で2年半程度研究をし、以後は岐阜大学病院で消化器外科、特に胃癌治療（手術や化学療法など）を中心に診療を行ってきました。

Q. 岐阜市民病院へ初めて来たときの印象は？また、現在の印象は？

A. 高校時代に自転車通学で、近くを通っていましたが、患者として受診することはありませんでした。医者になって5年目で初めて赴任しましたが、ものすごく忙しい病院という印象で、しょっちゅう呼び出されていました。現在は立場が変わったので、当時ほどではないですが、医局を含めて西診療棟がとてもキレイですごしやすいです。

Q. 現在どんな疾患を専門としていますか？

A. 消化器外科、特に胃癌治療を専門としています。患者さんに優しいと言われている低侵襲手術であるロボット手術や腹腔鏡手術を中心にを行っています。

Q. 治療や検査以外の、患者さんが見えないお仕事はどんなものがありますか？

A. カルテ記載、手術記録の作成、動画での手術の予習復習、外来の予習・準備、診断書などの書類作成、紹介状の返事作成、学会発表やその準備、後輩医師の指導、各種委員会活動などです。

Q. 趣味や休日の過ごし方を教えてください。

A. 趣味はテニスです。大学一年生から始めました。今は週に1回程度の頻度でレッスンに通っています。岐阜県医師会テニス大会で4連覇しています。休日は、妻と買い物に行きます。もっぱら荷物持ちです。

Q. 最後に地域の皆様へメッセージをお願いします。

A. 胃癌治療に関しては、県内でもトップレベルの治療ができていると自負しております（日本胃癌学会施設認定A）。地域の皆様の健康と幸せを支えるため、日々全力で取り組んでいます。安心して治療を受けていただけるよう、スタッフ一同努力いたします。どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。



市民公開講座のお知らせ

開催日 隔月 土曜日か日曜日 午後2時～午後3時

開催場所 みんなの森 ぎふメディアコスモス

定員 100名（事前申し込み不要・先着順）

当院ホームページ
市民公開講座
お知らせのページ



岐阜市民病院では、これまで院内で開催しておりました市民公開講座を、今年度よりみんなの森ぎふメディアコスモスで開催しております。今年度の開催予定は以下の表のとおりです。
参加無料、事前申し込み不要ですのでお気軽にご参加ください。



開催	開催月日	開催場所	担当部署・講演者
第3回 (通算143回)	8月17日 土曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	岐阜市民病院 認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴 岐阜市民病院 認知症疾患医療センター 相談員 村瀬 智明
第4回 (通算144回)	10月27日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのホール	岐阜市民病院 副院長 血液内科長 笠原 千嗣
第5回 (通算145回)	12月15日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	岐阜市民病院 消化器内科部長 林 秀樹
第6回 (通算146回)	2月2日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	岐阜市民病院 救急診療部長 玉川 紀之 岐阜市消防本部（予定）

岐阜市公式 YouTube チャンネルで配信中

これまで開催した市民公開講座を YouTube の岐阜市公式チャンネルで配信しております。

配信中の講座は岐阜市民病院ホームページ（QRコード：<https://gmhosp.jp/general/koukaikouza-jisseki/doug.html>）に掲載しておりますのでご覧ください。

当院ホームページ
市民公開講座の動画



発行年月：令和6年6月 発行者：岐阜市民病院 地域連携部、広報委員会
〒500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地 TEL：058-251-1101
ホームページ：<https://gmhosp.jp/>

岐阜市民病院
ホームページ

